

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	316,871千円	259,887千円	381,594千円	0千円
	総人件費	24,323千円	30,692千円	27,265千円	
	総事業コスト	341,194千円	290,579千円	402,059千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	01	下手地区県営農業競争力強化基盤整備事業	指標名	事業進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	事業面積ベースの進捗率				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度			
戦略プラン	-	-	-	16%	48%	86%	90%	92%	95%	100%					
	-	-	-	実績	16%	48%	86%	90%	-						
総合戦略	-	-	-	H29年度				H30年度							
	-	-	-	改善目標	県に協力しながら、区画整理工等の事業推進し、十分な地権者の理解を得て事業を進めていく必要がある。				改善目標	県に協力しながら、区画整理工等の事業推進し、十分な地権者の理解を得て事業を進める。					
市長公約	-	-	-	事業計画	区画整理工 4.7ha				事業計画	・暗渠排水工(3.5ha)、幹線道路改良0.5km ・用地買収・補償費 A=750㎡					
個別計画	-	-	-		活動実績	区画整理工 4.7ha				上半期活動実績	-				
根拠法令等	土地改良法			成果		年次計画とおり、区画工を施工した。					上半期成果	-			
事業分類	E 補助金・負担金事業				課題	地権者の理解を十分得ながら事業を進めていく必要がある。				課題		-			
執行体制	職員のみ			事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-
事業の目的	・農作業の効率化や省力化を図り、安定した農業経営が行えるようにするため				有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-			H31年度の方向性		-
事業の概要	・農地の区画整理、農道及び排水路整備、用水機場及びパイプラインの整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。			効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			H31年度の方向性		-	理由
ISO 14001	H29 環境関連性	-	-	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-				H31年度の方向性	-	理由
	H30 環境関連性	-	-												

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	316,871千円	259,887千円	381,594千円	0千円
	総人件費	24,323千円	30,692千円	27,265千円	
	総事業コスト	341,194千円	290,579千円	402,059千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	02	遠東地区県営畑地帯総合整備事業 (担い手育成型)				指標名	農業振興区域内基盤整備進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	農業振興区域内の畑のうち、基盤整備が行われた畑の割合		
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-	-	-	-	実績	88%	88%	88%	-	-	-	-				
総合戦略	-	-	-	-	H29年度				H30年度				その他の指標	-		
	-	-	-	-	改善目標	会計経理等関係書類の引き渡しは、適切な処理で実行していくように指導する。				改善目標	-					
	-	-	-	-												
市長公約	-					事業計画					事業計画					
個別計画	-						会計経理等関係書類の引き渡し									
根拠法令等	土地改良法															
事業分類	E	補助金・負担金事業				活動実績					上半期活動実績					
執行体制	職員のみ						会計経理等の引き渡しが全て完了し平成29年度をもって事業を終了する。									
事業の目的	・農作業の効率化や省力化を図り、安定した農業経営が行えるようにするため。				成果					上半期成果						
事業の概要	・農地の区画整理、農道及び排水路整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。					会計経理等の引き渡しが完了。										
						課題					課題					
ISO 14001	H29 環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-		
	H30 環境関連性	-	-	-	評価	有効性	【終了】中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-					
					評価	効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		H31年度の方向性	-	理由	-
					評価	総合評価	—：事業の終了		評価	総合評価	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	316,871千円	259,887千円	381,594千円	0千円
	総人件費	24,323千円	30,692千円	27,265千円	
	総事業コスト	341,194千円	290,579千円	402,059千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	03 豊里南部地区県営畑地帯総合土地改良事業	指標名	農業振興区域内基盤整備進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	農業振興区域内の畑のうち、基盤整備が行われた畑の割合	
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
		実績	88%	88%	88%	88%	88%	88%			88%
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
市長公約	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
根拠法令等	土地改良法	改善目標	H29年度 未同意者2名に同意を得られるように引き続き働きかけ、換地計画書作成に伴う調査委託を締結し、登記に向けて進める。				改善目標	H30年度 上郷(神谷森)地区の地元役員、事業主体の県に協力し、登記に向けて未同意者の同意を得られるよう引き続き話し合いを進める。			
事業分類	C 義務的事业	事業計画	課題や問題点を地元役員と協議し、登記に向けて進める。				事業計画	問題点を地元役員と協議しながら登記に向けて進める。			
執行体制	職員のみ	活動実績	課題や問題点を地元役員と協議し、登記に向けて進めた。				上半期活動実績	-			
事業の目的	・農作業の効率化や省力化を図り、安定した農業経営が行えるようにするため	成果	地元との調整を行い換地計画書作成に向けて前進した。				上半期成果	-			
事業の概要	・農地の区画整理、農道及び排水路整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。	課題	未同意者2名に同意を得られるように引き続き働きかける必要がある。				課題	-			
ISO 14001	H29 環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	未達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	-	
	H30 環境関連性	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-	評価	有効性	-	
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-		効率性	-	
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		総合評価	-	
		事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	H31年度当初積算根拠			
		事業費(A)		142千円	236千円	244千円	0千円	-			
		国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	-			
		県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	-			
		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	-			
		その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円	-			
		一般財源		142千円	236千円	244千円	0千円	-			
		人件費(B)		1,599千円	2,260千円	1,549千円		-			
		正職員		従事割合	0.20人	0.30人	0.20人	-			
		時間外勤務		50.00時間	50.00時間	50.00時間		-			
		臨時職員等		無	無	無		-			
		事業コスト(A+B)		1,741千円	2,496千円	1,793千円		-			
		H31年度当初積算根拠		-							
		H31年度の方向性		-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	316,871千円	259,887千円	381,594千円	0千円
	総人件費	24,323千円	30,692千円	27,265千円	
	総事業コスト	341,194千円	290,579千円	402,059千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	04 東筑波地区農村空間整備事業	指標名	事業進捗率				指標種別	活動結果指標		指標の概要	全体事業の工事費ベースの進捗率															
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																	
			75%	80%	85%	90%	-	-	-																	
		実績	76%	76%	85%	100%	-																			
総合戦略	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-														
			県とともに、地元が要望している施工箇所を反映させ、農業施設や農村景観の保全・復元の整備を進める。				-																			
			-				-																			
市長公約	-	事業計画	事業計画				事業計画				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初											
個別計画	-										事業費(A)	2,169千円	3,500千円	0千円	0千円											
根拠法令等	土地改良法										活動実績	活動実績				活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
	事業分類	E 補助金・負担金事業	内訳	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																		
	執行体制	職員のみ		地方債	1,900千円	3,100千円	0千円	0千円																		
	事業の目的	筑波山を中心とした対象4市を事業区域とし、その農村地域の農業施設や景観を整備・保全・復元することによって、美しい農村景観・文化に接する空間を創造するとともに都市と農村の交流の場を提供して、地域の活性化を図るため。		成果	成果				成果											その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
																				一般財源	269千円	400千円	0千円	0千円		
事業の概要	・つくば市該当事業：ため池護岸工(北条大池) ・他市該当事業：コア施設(展示・案内)一式、農村公園整備(ポケットパーク)一式、水辺環境整備(魚道の再生)一式 ○全体予定事業費 1,239,900千円 ○負担区分 国50% 県25% 地元(4市)25%(つくば市＝地元25%×20.86%)	課題	課題				課題				人件費(B)	53千円	2,133千円	0千円												
											正職員	従事割合	0.00人	0.30人	0.00人											
ISO 14001	H29 環境関連性	評価	評価				評価				時間外勤務	20.00時間	0.00時間	0.00時間												
	H30 環境関連性										臨時職員等	無	無	無												
										事業コスト(A+B)	2,222千円	5,633千円	0千円													
										H31年度当初積算根拠	-															
										H31年度の方向性	-	理由	-													
		有効性	【終了】高：成果が向上(高水準を維持)している				有効性		-																	
		効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている				効率性		-																	
		総合評価	—：事業の終了				総合評価		-																	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	316,871千円	259,887千円	381,594千円	0千円
	総人件費	24,323千円	30,692千円	27,265千円	
	総事業コスト	341,194千円	290,579千円	402,059千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	05 一般単独排水路整備事業				指標名	工事延長				指標種別	成果指標				指標の概要	年度内に完成した工事の総延長距離数			
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-				実績	2,770m	2,274m	1,342m	1763m	1763m	2,000m	2,000m							
	-					4,847m	1,745m	1635m	1770m	-									
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-				
	-					多面的機能支払事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。													
	-					改善目標													
市長公約	-				事業計画					事業計画					事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-					高須賀ほか9地区の測量設計 L=3,765m 高須賀・高良田・上郷(神谷森)酒丸・下平塚の排水路等改修工事 L=1,763m システム管理委託					・上郷(山下)外11か所の測量設計委託 32,626千円 ・工事請負費 43,455千円 ・廃棄物処理委託料 378千円 ・積算システム管理委託料 1,202千円				事業費(A)	82,920千円	89,571千円	77,661千円	0千円
根拠法令等	土地改良法														国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事業				活動実績					上半期活動実績					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	一部委託														地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	都市化に伴い、上流部の宅地及び道路等の雨水が流入し、農業用排水路としての機能に悪影響を及ぼしているため、排水路を整備することにより、排水機能の改善と維持管理の軽減を図るため。					下平塚地区外11か所の測量設計 L=2907m 下平塚地区外6か所の工事発注 L=1770m									その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	地元要望等を受け、土地改良事業区域内の排水路について、三面フリュームによる整備または底版コンクリート打設による改修を行う。				成果	当初の予定通り工事発注ができた。				上半期成果					一般財源	82,920千円	89,571千円	77,661千円	0千円
															人件費(B)	6,047千円	5,863千円	5,863千円	
															正職員	従事割合	0.80人	0.80人	0.80人
					課題					課題					時間外勤務	70.00時間	70.00時間	70.00時間	
															臨時職員等	無	無	無	
															事業コスト(A+B)	88,967千円	95,434千円	83,524千円	
													H31年度当初積算根拠						
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度の方向性				-	理由	-
	H30 環境関連性	-			有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-									
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-									
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	316,871千円	259,887千円	381,594千円	0千円
	総人件費	24,323千円	30,692千円	27,265千円	
	総事業コスト	341,194千円	290,579千円	402,059千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	06 農業基盤整備促進事業				指標名	工事延長				指標種別	成果指標										
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要								
戦略プラン	-				実績	1,663m	1,122m	1,080m	1060m	1,000m	1,000m	1,000m	年度内に完成した工事の総延長距離数								
	-					2,000m	832.93m	673m	694m	-											
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
	-					多面的機能支払事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。				-											
	-																				
市長公約	-				事業計画					事業計画					事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	-					上河原崎・上郷・中根地区の排水路整備工事 L=1,060m					・中根地区外4か所 L=1690m ・工事請負費 58,450千円				事業費(A)	36,104千円	30,010千円	58,450千円	0千円		
根拠法令等	農業基盤整備促進事業実施要綱														国庫支出金	18,052千円	15,005千円	29,225千円	0千円		
事業分類	A 任意的事業				活動実績					上半期活動実績					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	一部委託					上河原崎 L=437m 上郷 L=257m					-				地方債	16,246千円	13,505千円	26,300千円	0千円		
事業の目的	農業基盤整備地区内の排水路整備により農地の排水不良等を解消し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整えるため。														その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	国庫補助事業(補助率 排水施設50.0%)の導入により農業用排水路の整備を行う。				成果	国庫補助金の内示割れとなり工事延長縮小し発注した。				上半期成果	-				一般財源	1,806千円	1,501千円	2,925千円	0千円		
						課題	-				課題	-				人件費(B)	3,796千円	2,970千円	3,681千円		
																正職員	従事割合	0.50人	0.40人	0.50人	
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	時間外勤務	50.00時間	50.00時間	50.00時間					
	H30 環境関連性	-			有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			臨時職員等	無	無	無					
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-			事業コスト(A+B)	39,900千円	32,980千円	62,131千円					
													H31年度当初積算根拠	-				H31年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	316,871千円	259,887千円	381,594千円	0千円
	総人件費	24,323千円	30,692千円	27,265千円	
	総事業コスト	341,194千円	290,579千円	402,059千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	07	ため池・排水路維持補修事業	指標名	工事箇所数				指標種別	成果指標	指標の概要	年度内に補修工事を行った箇所数	
戦略プラン	-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
	-		実績	20箇所	20箇所	20箇所	24箇所	32箇所	20箇所			20箇所
総合戦略	-		改善目標	H29年度				H30年度				
市長公約	-		事業計画	上郷、沼田、篠崎等の修繕工事を年間あたり24箇所程度補修を行っていく。				改善目標				
個別計画	-			道路横断コルゲート管布設替等 24か所				事業計画 ・道路横断コルゲート敷設替え等 32か所 ・工事請負費 1,000×約32か所=31,754千円				
根拠法令等	-		活動実績	道路横断コルゲート管敷設替え等 42か所 ・工事請負費 23,707千円				上半期活動実績				
事業分類	F 施設等維持管理事業			成果				上半期成果				
執行体制	職員のみ		課題	当初24か所の修繕予定だったが42か所行えた。				課題				
事業の目的	土地改良事業により整備された排水路等の施設は、雨水等の排水機能も担っており、老朽化により緊急性の高い補修箇所が増えている。このような場所を早急に補修することにより、農村環境保全と農村地域の安全を確保するため。			事業の進捗状況				事業の進捗状況				
事業の概要	各土地改良区や区会等からの維持・補修要望を受け、緊急性・必要性の高い箇所から順次補修工事を実施する。		達成				達成					
ISO 14001	H29 環境関連性	-		改善目標の進捗状況		達成		改善目標の進捗状況		-		
	H30 環境関連性	-		有効性		中：適切な成果が得られている		有効性		-		
				効率性		中：適切な費用対効果が得られている		効率性		-		
				総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-		
				事業コスト		23,789千円		26,677千円		36,137千円		
				人件費(B)		3,796千円		2,970千円		4,392千円		
				正職員		0.50人		0.40人		0.60人		
				時間外勤務		50.00時間		50.00時間		50.00時間		
				臨時職員等		無		無		無		
				事業実施コスト		19,993千円		23,707千円		31,745千円		
				事業費(A)		19,993千円		23,707千円		31,745千円		
				国庫支出金		0千円		0千円		0千円		
				県支出金		0千円		0千円		0千円		
				地方債		0千円		0千円		0千円		
				その他特財		0千円		0千円		0千円		
				一般財源		19,993千円		23,707千円		31,745千円		
				H31年度当初積算根拠		-		-		-		
				H31年度の方向性		-		理由		-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度:H29年度~H30年度】

要 す る 経 費 全 体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	316,871千円	259,887千円	381,594千円	0千円
	総人件費	24,323千円	30,692千円	27,265千円	
	総事業コスト	341,194千円	290,579千円	402,059千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	08 県単ため池整備事業				指標名	整備箇所数				指標種別	成果指標	指標の概要	年度内に調査または工事を行ったため池数																		
	戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		H31年度	H32年度																	
						実績	1箇所	3箇所	3箇所	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所																	
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-																
						工事終了後の、適正な維持管理を推進していく。				改善目標 ・受注しやすい発注内容を検討する。																					
市長公約	-				事業計画	沼田堂山池整備工事 護岸工 A=129㎡				事業計画 ・北条新池護岸整備等整備工事 104,260千円 ・北条新池護岸等整備実施設計委託 4,700千円 ・下横場池調査設計 2,650千円 ・工事をため池整備と流末排水整備の2本に分け、入札格付基準点を設けず入札案件とする。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初													
個別計画	-													事業費(A)	32,323千円	0千円	111,610千円	0千円													
根拠法令等	土地改良法													活動実績	・一般競争入札で2度の不調により事業計画の遂行が出来なかった。				上半期活動実績	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円							
	事業分類	A 任意的事业																		成果	-				上半期成果	県支出金	7,250千円	0千円	54,480千円	0千円	
		執行体制	一部委託																							課題	・応札者がなかったことから発注内容を検討する必要がある。				課題
	事業の目的		農業用ため池は、築造年代が古いものが多く存在しており、堤体などの老朽化対策を必要とするものが多くなっている。このような中で、浸食等により老朽化した農業用ため池の堤体等を整備することにより、安定した農業用水確保と豪雨等によるため池の被災を防止するため。																					内訳	その他特財						
事業の概要	県補助事業(補助率 排水施設37.5% ため池50.0%)の導入により農業施設の整備を行う。								内訳	一般財源	25,073千円	0千円	57,130千円	0千円																	
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況				未達成	改善目標の進捗状況	未達成	事業の進捗状況				-	改善目標の進捗状況	-												
	H30 環境関連性	-				評価				有効性	低: 成果が低下(低水準を維持)している				H31年度当初積算根拠	-															
												効率性	低: 費用対効果が低下(低水準を維持)している				H31年度の方向性	-	理由	-											
												総合評価	E: 事業の抜本的な見直し(縮小・廃止)の必要有り																		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	316,871千円	259,887千円	381,594千円	0千円
	総人件費	24,323千円	30,692千円	27,265千円	
	総事業コスト	341,194千円	290,579千円	402,059千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	09	かんがい排水整備事業償還金補助事務	指標名	償還補助件数				指標種別	活動結果指標	指標の概要	借入金の償還補助件数			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
戦略プラン	-	-	-	23件	22件	17件	15件	11件	11件	8件				
	-	-	-	実績	23件	22件	17件	15件	-					
総合戦略	-	-	-	H29年度				H30年度						
	-	-	-	改善目標	今後も借換え可能な案件については借換えを進め、市の債務負担を減額する。				改善目標	-				
市長公約	-	-	-	事業計画	作谷地区ほか14件について償還補助				事業計画	平地区ほか10件について償還補助				
個別計画	-	-	-		活動実績	作谷地区ほか14件について償還補助を実施した。				上半期活動実績	-			
根拠法令等	つくば市非補助融資事業補助金交付要項		成果	受益者の負担軽減を図ることができた。				上半期成果	-					
事業分類	E 補助金・負担金事業			課題	-				課題	-				
執行体制	補助金(直接)		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-
事業の目的	市が実施した排水路整備事業費について、受益者が融資を受けた借入金に対し、償還補助を行うことにより受益者の負担軽減を図るため。			有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-		-		H31年度の方向性		-
事業の概要	償還(2年据置き13年償還)については、平成36年度まで継続する。 ※債務負担行為設定済		効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-		-		H31年度の方向性		-	理由
ISO 14001	H29 環境関連性	-	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		-			H31年度の方向性	-	理由
	H30 環境関連性	-												

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	316,871千円	259,887千円	381,594千円	0千円
	総人件費	24,323千円	30,692千円	27,265千円	
	総事業コスト	341,194千円	290,579千円	402,059千円	

事務事業名	10 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業 (桜川第1揚水機場)	指標名	工事進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	全体事業の工事費ベースの進捗率								
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度							
戦略プラン	- - - -	実績	-	-	40%	70%	100%	-	-									
総合戦略	- - - -	H29年度				H30年度				その他の指標	-							
		改善目標	県と連携し、揚水機場の機能診断を行い、早急に保全計画を策定する。				改善目標	県と十五ヶ町村と市で揚水機場等の機能診断を行い3ヶ年程度の保全計画を立案する。										
市長公約	-	事業計画	[桜川第1揚水機場] ・電気設備工 変圧器盤2台 低圧盤1台 ・建屋工補修 ・ポンプ付帯設備工 2台				事業計画	真空ポンプ更新 N=2台 吹水槽補修工 N=一式 吸水管更新 N=4箇所				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	-		活動実績	・ポンプ等点検作業の実施(年2回) ・屋外地上タンク貯蔵所点検作業の実施(年1回) ・電気設備点検の実施(月1回)				上半期活動実績	-				事業費(A)	1,046千円	2,370千円	3,485千円	0千円	
根拠法令等	土地改良法	成果	受益地の再調査により、修繕規模を把握できた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業分類	E 補助金・負担金事業		課題	ポンプ施設の劣化の状況に応じた適切な対策工事を進める必要がある。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ	事業の概要	桜川第1揚水機場の機能診断を行い、機能保全計画を策したうえで、劣化の状況に応じた適切な対策工事を行い、施設の長寿命化を図る。				事業の概要	-				地方債	900千円	2,100千円	3,100千円	0千円		
事業の目的	昭和35年に建設された桜川第1揚水機場は、標準耐用年数20年を超過し、ポンプ施設・電気制御施設の老朽化により能力が低下している。本事業を導入し適切な補修を行い、施設のライフサイクルコストの低減と農業用水の安定供給を図る。		評価	有効性 中:適切な成果が得られている				評価	有効性 -				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H29 環境関連性	事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況		-	一般財源	146千円	270千円	385千円	0千円
	H30 環境関連性	評価	効率性 中:適切な費用対効果が得られている				評価	効率性 -				人件費(B)	1,466千円	1,422千円	1,422千円			
			総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価 -				正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人		
												時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
												臨時職員等	無	無	無			
												事業コスト(A+B)	2,512千円	3,792千円	4,907千円			
												H31年度当初積算根拠	-					
												H31年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	316,871千円	259,887千円	381,594千円	0千円
	総人件費	24,323千円	30,692千円	27,265千円	
	総事業コスト	341,194千円	290,579千円	402,059千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	11 県営角内地区畑地帯総合整備事業				指標名	農業振興地域内基盤整備進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	農業振興地域内の畑のうち、基盤整備が行われた畑の割合								
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度							
戦略プラン	-				実績	-	-	88%	88%	-											
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
						県に協力しながら、事業区域の調査計画にあたる。				-											
市長公約	-				事業計画	事業計画	-	-	-	-	-	-	-								
個別計画	-													活動実績	事業計画	-	-	-	-	-	-
根拠法令等	土地改良法																				
事業分類	E 補助金・負担金事業				課題	事業計画	-	-	-	-	-	-									
執行体制	職員のみ												事業の目的	事業計画	-	-	-	-	-	-	
事業の目的	農作業の効率化や省力化を図り、安定した農業経営が行えるようにするため。				成果	事業計画	-	-	-	-	-	-									
	事業の概要	・農地の区画整理、農道及び排水路整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。											課題	事業計画	-	-	-	-	-		
ISO 14001		H29 環境関連性	-		-		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-								改善目標の進捗状況	-
	ISO 14001	H30 環境関連性	-		-			評価	有効性	中：適切な成果が得られている	有効性	-	H31年度の方向性	-	理由	-					
評価		効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-															
	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-																

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	316,871千円	259,887千円	381,594千円	0千円
	総人件費	24,323千円	30,692千円	27,265千円	
	総事業コスト	341,194千円	290,579千円	402,059千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	12	中間管理機構関連農地整備事業調査計画	指標名	農業振興地域内基盤整備進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	農業振興地域内の畑のうち、基盤整備が行われた田の割合	
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	97%	97%	97%		
実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
総合戦略	H29年度		H30年度		H29年度		H30年度		その他の指標	-		
	改善目標	-	改善目標	-	改善目標	-	改善目標	-				
	改善目標	-	改善目標	-	改善目標	-	改善目標	-				
市長公約	-		事業計画	-	事業計画	調査対象地区(小和田、下通後田、明戸上口地区) ・整備計画の検討 ・地域の営農を検討						
個別計画	-											
根拠法令等	土地改良法		活動実績	-	上半期活動実績	-	内訳	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
事業分類	E 補助金・負担金事業							事業費(A)	0千円	0千円	6,800千円	0千円
執行体制	職員のみ		成果	-	上半期成果	-	内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	農作業の効率化や省力化を図り、安定した農業経営が行えるようにするため。							地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	・農地の区画整理、農道及び排水路整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。		課題	-	課題	-	内訳	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
								一般財源	0千円	0千円	6,800千円	0千円
ISO 14001	H29 環境関連性	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	人件費(B)	0千円	0千円	0千円	
	H30 環境関連性	-	有効性	-	有効性	-		正職員	従事割合	0.00人	-	0.50人
			評価	効率性	-	効率性	-	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	50.00時間	
			総合評価	0	総合評価	0	臨時職員等	-	無	無		
							事業コスト(A+B)	0千円	0千円	0千円		
							H31年度当初積算根拠	-				
							H31年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	105,308千円	85,677千円	98,427千円	0千円
	総人件費	3,663千円	2,133千円	2,133千円	
	総事業コスト	108,971千円	87,810千円	100,560千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	12	霞ヶ浦用水建設に要する経費

事務事業名	01 霞ヶ浦用水建設事業				指標名	通水面積				指標種別	成果指標				指標の概要	霞ヶ浦農業用水の市内通水面積					
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
戦略プラン	-				実績	1670ha	1680ha	1690ha	1700ha	1720ha	1730ha	1740ha									
	-					1699ha	1699ha	1699ha	1699ha	-											
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
	-					末端用水路の整備に向け、受益地を国補事業要件に該当させるための調整を図る。				末端用水路の整備に向け、受益地を国補事業要件に該当させるための調整を図る。											
	-																				
市長公約	-				事業計画									事業実施コスト							
個別計画	-					<ul style="list-style-type: none"> ・下手支線用水路工事 L=500m ・霞ヶ浦用水事業の普及啓発活動 ・畑地かんがい営農講演会、現地研修会を実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・下手支線用水路工事 L=500m ・霞ヶ浦用水事業の普及啓発活動 ・畑地かんがい営農講演会、現地研修会を実施 					事業費(A)						
	-															国庫支出金					
根拠法令等	土地改良法				活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ浦用水事業の普及啓発活動 ・畑地かんがい営農講演会、現地研修会を実施 								県支出金							
	-														地方債						
事業分類	E 補助金・負担金事業				成果									その他特財							
執行体制	補助金(直接)														一般財源						
事業の目的	霞ヶ浦から用水を取水し、県西南部13市町を対象として農業用水を安定的に供給する体制を確立し、豊かな地域づくりを推進するとともに農業基盤の充実を図るため。				上半期活動実績									人件費(B)							
															正職員						
事業の概要	13市町の水田10,919ha・畑地及び樹園地8,375haの農地に最大17.8m ³ /secの農業用水を供給する。つくば市の受益面積は、水田2,045ha、畑1,061haである。				上半期成果	つくば市内水田1688ha、畑10.4haに通水し安定した農業用水の確保が図られた。								時間外勤務							
															臨時職員等						
ISO 14001	H29 環境関連性	-			課題	末端用水路の整備は、国の予算割当てが要求額を下回っており整備計画通りに進んでいない。								事業コスト(A+B)							
	H30 環境関連性	-													H31年度当初積算根拠						
					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-									
					評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-			H31年度の方向性						
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-				理由					
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	168,325千円	157,905千円	172,152千円	0千円
	総人件費	13,979千円	10,411千円	10,638千円	
	総事業コスト	182,304千円	168,316千円	182,790千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	01	国営造成施設管理体制整備促進事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-			
戦略プラン	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	
	-	-		-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	
総合戦略	-	-	改善目標	H29年度				H30年度			
	-	-		-				-			
	-	-		-				-			
市長公約	-	-	事業計画	計画策定事業として県及び土地改良区で管理計画を更新する。推進事業としてつくば農産物フェアに出展しPR活動を実施する。また、支援事業として関係土地改良区へ管理体制整備・強化に要する経費を補助する。				計画策定事業として県及び土地改良区で管理計画を更新する。推進事業としてつくば農産物フェアに出展しPR活動を実施する。また、支援事業として、つくば市筑波・南筑波土地改良区へ管理体制整備・強化及び草刈り等に要する経費を補助する。			
個別計画	-	-	活動実績	計画策定事業として県及び土地改良区で管理計画を更新した。推進事業として、つくば農産物フェアに出展しPR活動を実施した。また、支援事業としてつくば市筑波土地改良区及び南筑波土地改良区へ管理体制の整備に要する経費を補助した。				上半期活動実績			
根拠法令等	土地改良法、国営造成施設管理体制整備促進事業実施要綱、つくば市国営造成施設管理体制整備促進事業補助金交付要項		成果	農業水利施設の適正管理により、農業水利施設の持つ多面的機能を維持することができた。				上半期成果			
事業分類	E 補助金・負担金事業		課題	-				課題			
執行体制	補助金(直接)		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	
事業の目的	農業水利施設の持つ多面的機能の発揮等について適切な取り組みを推進する観点から、国・県・市が連携して土地改良区へ補助・指導を実施し、管理体制の整備を図るため。		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-	-		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定事業：土地改良区の管理体制構築に取り組み、管理水準及び体制等について計画を策定する。 ・推進事業：計画に基づき、関係団体との協議調整及び組合員・地域住民への啓発普及と連携強化活動を実施する。 ・支援事業：国営造成施設(霞ヶ浦用水)及び国営附帯施設を管理している土地改良区の管理体制の整備に要する経費を支援する。 		評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-	-		
	-		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-	-			
ISO 14001	H29 環境関連性	-	H31年度当初積算根拠		-		H31年度の方向性		-	理由	-
	H30 環境関連性	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度:H29年度～H30年度】

要 す る 経 費 全 体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	168,325千円	157,905千円	172,152千円	0千円
	総人件費	13,979千円	10,411千円	10,638千円	
	総事業コスト	182,304千円	168,316千円	182,790千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	02 土地改良区工事補助事業				指標名	補助件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	土地改良区等に対する工事補助件数					
	戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
				実績	16件	16件	13件	16件	-												
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
						補助予定箇所について、前年度に土地改良区と調整する。															
市長公約	-				事業計画									事業実施コスト							
個別計画	-					・補助対象事業 土地改良施設維持管理適正化事業 7件 県単土地改良事業 8件 農業基盤整備促進事業 1件				・補助対象事業 土地改良施設維持管理適正化事業 7件 県単土地改良事業 8件 農業基盤整備促進事業 1件					事業費(A)	19,053千円	10,580千円	26,333千円	0千円		
根拠法令等	土地改良法、つくば市土地改良事業補助金交付要項														国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績	・補助対象事業 土地改良施設維持管理適正化事業 7件 県単土地改良事業 8件 農業基盤整備促進事業 1件				上半期活動実績				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制	補助金(直接)													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	土地改良区が事業主体で実施する土地改良施設の整備補修に対する補助を行うことにより、農業生産基盤の確立と農業生産性の向上を図るため。													その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要	土地改良区が農業用施設の維持管理のため実施する各事業に対して予算の範囲内で補助する。 維持管理適正化事業:事業費×15% 県単土地改良事業:事業費×30% 農業基盤整備促進事業:事業費×10%				成果	土地改良施設の整備・改修に対する補助を実施することにより、農家負担の軽減と安定した農業生産が可能となった。				上半期成果				一般財源	19,053千円	10,580千円	26,333千円	0千円			
														人件費(B)	2,304千円	2,184千円	2,234千円				
														正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人			
				課題									時間外勤務	40.00時間	20.00時間	40.00時間					
													臨時職員等	無	無	無					
													事業コスト(A+B)	21,357千円	12,764千円	28,567千円					
												H31年度当初積算根拠									
												-									
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度の方向性								
	H30 環境関連性	-			有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-		理由						-			
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-											
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-												

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	168,325千円	157,905千円	172,152千円	0千円
	総人件費	13,979千円	10,411千円	10,638千円	
	総事業コスト	182,304千円	168,316千円	182,790千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	03 多面的機能支払事業				指標名	認定面積				指標種別	活動結果指標				指標の概要	活動組織の事業計画について、市が認定した総面積				
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン	-				実績	1700ha	2000ha	2200ha	2250ha	2311ha	2350	2400								
	-					1746ha	2202ha	2220ha	2311ha	-										
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	-					活動組織に対する指導・助言活動を実施する。				-										
	-																			
市長公約	-				事業計画	作谷地区ほか35組織に対し、約2,355ヘクタールの農用地を対象に活動支援金を交付				作谷地区ほか35組織に対し、約2,312ヘクタールの農用地を対象に活動支援金を交付する。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	-					活動実績				上半期活動実績				事業費(A)	102,455千円	105,873千円	104,308千円	0千円		
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、多面的機能支払交付金実施要綱、つくば市多面的機能支払交付金の交付に関する要綱					課題				-				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事業分類	E 補助金・負担金事業				成果				-					県支出金	76,951千円	79,509千円	78,161千円	0千円	
執行体制	補助金(直接)					事業の概要				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	農業者や地域住民共同による農地・農業用施設等の資源の保全活動やその一環として行う農村環境保全活動について支援するため。					課題				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
	活動組織は5年間の事業計画を作成し、市の認定を受けたうえで活動を実施する。市は活動組織に対し、農用地の面積に応じて交付金を交付する。 交付額：農地維持(田=3,000円/10a 畑=2,000円/10a)・資源向上(田=2,400円/10a 畑=1,440円/10a) 負担割合：国50% 県25% 市25%				事業の進捗状況				達成				一般財源	25,504千円	26,364千円	26,147千円	0千円			
事業の概要	-				事業の進捗状況				達成				人件費(B)	6,806千円	3,605千円	3,655千円				
	-				事業の進捗状況				達成				正職員	従事割合	0.90人	0.50人	0.50人			
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況				達成				時間外勤務	80.00時間	20.00時間	40.00時間				
	H30 環境関連性	-			事業の進捗状況				達成				臨時職員等	無	無	無				
												事業コスト(A+B)	109,261千円	109,478千円	107,963千円					
												H31年度当初積算根拠	-							
												評価	有効性	中：適切な成果が得られている			H31年度の方向性	-	理由	-
												評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている						
												評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	168,325千円	157,905千円	172,152千円	0千円
	総人件費	13,979千円	10,411千円	10,638千円	
	総事業コスト	182,304千円	168,316千円	182,790千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	04 土地改良施設管理支援事業				指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-							
	-				実績	-	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	-					多面的機能支払事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。									-					
	-					-									-					
市長公約	-				事業計画	-				-				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	-					・北条地区排水路清掃 L=150m ・寺池ほか3か所の維持管理 (除草・樹木伐採等)				・植栽維持管理 大曾根、寺池、西高野及び大形上池地区の除草作業。 ・北条地区排水路清掃業務					事業費(A)	2,268千円	2,494千円	2,995千円	0千円	
根拠法令等	-					-				-					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	-				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	一部委託					-				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	農業用としてだけでなく一般にも供用されている土地改良施設の管理の一部を市が担い、施設の機能を良好な状態に維持するため。					・北条地区排水路清掃委託 L=368m実施 ・大曾根、寺池、西高野、上境、小荃地区農地の維持管理実施した。				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	ため池の除草や用水路の浚渫を実施することで、これらの農業用施設の機能維持と適正な管理を図る。				成果	・ため池の除草、土地改良施設の維持管理業務を実施することにより、施設を利用する上での機能向上や良好な状態を維持することができた。				-				一般財源	2,268千円	2,494千円	2,995千円	0千円		
	-					-				-				人件費(B)	1,099千円	1,067千円	1,067千円			
	-					-				-				正職員	従事割合	0.15人	0.15人	0.15人		
ISO 14001	H29環境関連性	-			課題	-				-				時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
	H30環境関連性	-				-				-				臨時職員等	無	無	無			
	-					-				-				事業コスト(A+B)	3,367千円	3,561千円	4,062千円			
					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠							
					有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			H31年度の方向性	-	理由	-				
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-										
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要 す る 経 費 全 体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	168,325千円	157,905千円	172,152千円	0千円
	総人件費	13,979千円	10,411千円	10,638千円	
	総事業コスト	182,304千円	168,316千円	182,790千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	05 湛水防除施設維持管理事業				指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
	戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-						
総合戦略		-				実績	-				-				その他の指標	-				
	-				-				-				-							
市長公約	-				改善目標	H29年度				H30年度				事業実施コスト	-					
	-					排水機場の改修計画を把握し、大規模な修繕が必要な際は県と協議し対応する。				-					-					
個別計画	-				事業計画	施設の維持管理負担金 ・鍋沼地区排水機場、山下地区排水機場 ・新治地区、桜川地区、川口地区の維持管理				施設の維持管理負担金 ・新治地区、桜川地区は土浦市が管理主体となり受益面積に応じた負担割合となっている。 ・鍋沼地区排水機場、山下地区排水機場 ・鍋沼排水機場は、つくば市公共施設白書の対象施設として、長寿命化に向けて維持管理を行う。				事業費(A)	-					
	-					-				-					-					
根拠法令等	-				活動実績	・許可工作物履行検査の実施(山下、鍋沼地区) ・淡水防除施設運営協議会(新治、桜川地区) ・川口排水機場負担金				-				国庫支出金	-					
	-					-				-					-					
事業分類	F 施設等維持管理事業				成果	淡水被害を未然に防止して、農業生産の維持及び農業経営の安定化が図られた。				-				県支出金	-					
執行体制	職員のみ					-				-					-					
事業の目的	土地改良事業により造成された排水施設を適正に管理することにより、湛水被害を未然に防止して農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るため。				課題	-				-				地方債	-					
	-					-				-					-					
事業の概要	河川の水位上昇により自然排水ができなくなる時期(4月～9月)に機械排水を行うとともに施設の維持管理をおこなう。 鍋沼排水機場は、公共施設マネジメント				事業の進捗状況	達成	-			達成	-			正職員	従事割合	-				
	-					-				-					時間外勤務	-				
ISO 14001	H29 環境関連性	-			評価	有効性	中:適切な成果が得られている			臨時職員等	-				事業コスト(A+B)	-				
	H30 環境関連性	-				効率性	中:適切な費用対効果が得られている				-					-				
															H31年度当初積算根拠	-				
																-				
															H31年度の方向性	-	理由	-		
																-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	159,264千円	147,433千円	125,457千円	0千円
	総人件費	7,934千円	7,751千円	7,700千円	
	総事業コスト	167,198千円	155,184千円	133,157千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	07	11	農道整備に要する経費

事務事業名	01 一般単独農道整備事業				指標名	工事延長				指標種別	活動結果指標				指標の概要	年度内に完成した工事の総延長距離数
	戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			
				実績	2,438m	2,500m	2,735m	2,500m	2,500m	2,500m	2,500m	2,500m				
				H29年度				H30年度				その他の指標	農業基盤整備完了区域内農道舗装整備率			
				改善目標	年次計画に基づき地元要望を勘案しながら農道舗装を進める。				改善目標	課内で工事個所の優先順位を検討し、3か年程度の事業計画を立案して実施する。						
市長公約	-				事業計画					事業計画						
個別計画	-					酒丸ほか5地区の測量設計 L=2,573m 酒丸ほか7地区の農道舗装工事 L=2,242m					・測量設計 吉沼地区外2地区 L=880m ・農道舗装工事 酒丸地区外4地区 L=1,740m					
根拠法令等	土地改良法				活動実績					上半期活動実績						
事業分類	A 任意的事业															
執行体制	一部委託				成果					上半期成果						
事業の目的	土地改良事業区域内の未舗装農道を整備することにより、農作物の荷崩れや砂塵による減産防止を図るとともに輸送の円滑化を促進し、農業経営の安定化と農村環境の改善を図るため。					・酒丸地区外8地区の測量設計実施 L=3,109m ・酒丸地区外8地区の舗装工事実施 L=2,221m										
事業の概要	土地改良区や区会等からの農道舗装や砕石敷等の要望を受け、公共性や費用対効果の高い箇所から、年次計画により整備を行う。				課題	当初の予定通り測量設計及び工事発注ができた。				課題						
				事業の進捗状況				事業の進捗状況				H31年度当初積算根拠				
				達成				達成								
				有効性				有効性				H31年度の方向性	理由			
				中：適切な成果が得られている				中：適切な費用対効果が得られている								
				効率性				効率性								
				総合評価				総合評価				B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				
				H29環境関連性				H30環境関連性								
				ISO 14001												

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	159,264千円	147,433千円	125,457千円	0千円
	総人件費	7,934千円	7,751千円	7,700千円	
	総事業コスト	167,198千円	155,184千円	133,157千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	07	11	農道整備に要する経費

事務事業名	02 つくば下総広域農道整備事業				指標名	事業進捗率				指標種別	活動結果指標				指標の概要	工事費ベースの進捗率						
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度										
	戦略プラン					-	-	-	-	97%	98%	99%	100%	100%			100%	100%				
				実績																		
					-	-	-	-	97%	98%	98%	98%	-									
総合戦略				H29年度				H30年度				その他の指標				-						
				改善目標	つくば市内の全線開通に向け、未買収地の交渉を県に協力し継続的に進める。				改善目標	つくば市内の全線開通に向け、未買収地の交渉を県に協力し継続的に進める。												
市長公約																						
個別計画				事業計画				事業計画				事業実施コスト				H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
				道路改良工 L=220m, 道路舗装工 L=160m 用地買収一式、付帯工一式				つくば市下総広域農道整備事業負担金補助 水海道・石下地区市町村道整備事業負担金 つくば市下総広域営農団地推進連絡協議会負担金 県担当者に協力し交渉に立ち会い、全員の同意を受ける。				事業費(A)				2,300千円	2,788千円	3,613千円	0千円			
根拠法令等				土地改良法								内訳				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
																県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業分類				E 補助金・負担金事業												地方債	0千円	720千円	1,700千円	0千円		
執行体制				職員のみ												その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的				活動実績				上半期活動実績								一般財源	2,300千円	2,068千円	1,913千円	0千円		
つくば市ほか7市町の営農団地と消費地を結ぶ広域基幹農道を整備することにより、農産物の集出荷体制を確立し市場競争力を高めるため。				地権者との交渉を3回実施。				-								人件費(B)	367千円	382千円	382千円			
事業の概要				成果				上半期成果								正職員	従事割合	0.05人	0.05人	0.05人		
事業主体：茨城県・市町 起点：坂東市借宿～終点：土浦市小野、農道整備 L=17,577m つくば市区間 L=5,200m 全体予定事業費 14,386,297千円 負担区分(つくば市23.8%)				・地権者7名のうち2名の同意を頂いた。				-								時間外勤務	0.00時間	10.00時間	10.00時間			
				課題				課題								臨時職員等	無	無	無			
				・残り5名の地権者と引き続き交渉し同意を頂く。今後31年度内に交渉がまとまらない場合はつくば市主体に事業変更となる。				-								事業コスト(A+B)	2,667千円	3,170千円	3,995千円			
ISO 14001				H29環境関連性				H30環境関連性				H31年度当初積算根拠				-						
				事業の進捗状況				事業の進捗状況														
				未達成				未達成														
				改善目標の進捗状況				改善目標の進捗状況														
				有効性				有効性														
				低：成果が低下(低水準を維持)している				-														
				効率性				効率性														
				低：費用対効果が低下(低水準を維持)している				-														
				総合評価				総合評価														
				E：事業の抜本的な見直し(縮小・廃止)の必要有り				-														
																H31年度の方向性				-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	159,264千円	147,433千円	125,457千円	0千円
	総人件費	7,934千円	7,751千円	7,700千円	
	総事業コスト	167,198千円	155,184千円	133,157千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	07	11	農道整備に要する経費

事務事業名	03 農道維持補修事業				指標名	工事箇所数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	年度内に補修工事を行った箇所数																										
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																														
戦略プラン	-				実績	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	7箇所	10箇所	10箇所																														
	-					9箇所	5箇所	6箇所	8箇所	-																																
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-																											
	-					-				-																																
	-					-				-																																
市長公約	-				事業計画	緊急性の高い箇所から計画的に補修				事業計画	・維持補修工事 7か所				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初																							
個別計画	-														事業費(A)	4,320千円	4,779千円	4,512千円	0千円																							
根拠法令等	土地改良法														活動実績	・吉沼地区外8か所の補修工事を実施した。				上半期活動実績	-	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																
	事業分類	F 施設等維持管理事業																				成果	・損傷の見られる農道の維持補修を実施することで、通行の際の安全性の確保と事故の未然防止をすることができた。				上半期成果	-	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円									
		執行体制	職員のみ																										課題	-				課題	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
			-																																	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	土地改良事業区域内の農道で老朽化等により損傷した道路を維持補修することにより、農村環境保全と農村地域の安全を確保するため。				事業の概要	各土地改良区や区会等から農道の維持補修要望を受け、緊急性・必要性の高い箇所から優先的に補修工事を実施する。				-	-	一般財源	4,320千円	4,779千円	4,512千円	0千円																										
事業の概要	-											人件費(B)	1,519千円	1,473千円	1,498千円																											
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-	理由	-																									
	H30 環境関連性	-					有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-																														
						評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			H31年度の方向性	-	理由	-																								
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-																															

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要 す る 経 費 全 体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	159,264千円	147,433千円	125,457千円	0千円
	総人件費	7,934千円	7,751千円	7,700千円	
	総事業コスト	167,198千円	155,184千円	133,157千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	07	11	農道整備に要する経費

事務事業名	04 農道整備事業償還金補助事務				指標名	償還補助件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	借入金の償還補助件数								
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度											
		-	-	-	-	実績	16件	14件	11件	9件	7件	5件	3件											
		-	-	-	-		16件	14件	11件	9件	-													
総合戦略	-	-	-	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-									
	-	-	-	-		今後借換え可能な案件については借換えを進め、市の債務負担を減額する。				-														
	-	-	-	-																				
市長公約	-				事業計画	吉沼地区ほか8件について償還補助				吉沼地区ほか6件について償還補助				事業実施コスト	H28年度決算 H29年度決算 H30年度当初 H31年度当初									
個別計画	-														内訳	事業費(A)								
根拠法令等	つくば市非補助融資事業補助金交付要項															国庫支出金								
																県支出金								
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績	北中島地区ほか8件について償還補助を実施した。				上半期活動実績				地方債										
執行体制	補助金(直接)													その他特財										
事業の目的	市が実施した農道整備事業費について、受益者が融資を受けた借入金に対し、償還補助を行うことにより受益者の負担軽減を図るため。				成果	低金利での借換えを実施したことにより、受益者の負担軽減となった。				上半期成果				一般財源										
														人件費(B)										
事業の概要	償還(2年据置き13年償還)については、平成34年度まで継続する。 ※債務負担行為設定済				課題	-				-				正職員										
														従事割合										
ISO 14001	H29 環境関連性	-			評価	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	時間外勤務										
	H30 環境関連性	-				有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				臨時職員等								
													H31年度当初積算根拠	-					H31年度の方向性	-				
														理由						-				
													H31年度の方向性					理由						
													理由					-						